

次号予告

特集 祝・還暦 日本OR学会の歩み

特集1 日本OR学会の系譜

特集2 今日の日本OR学会

特集3 これからの日本OR学会に向けて

メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●地方創生は、今後、長期にわたり多様な主体が力を合わせて取り組む大きな課題である。関係者は相互のコミュニケーションを大切に、共有できるビジョンをもって、取組みを進める必要がある。キーワードの一つは「協働」である。協働は、長期的な関係性の持続が難しく、しばしば結婚関係に例えられる。

●本格的な実行段階に入った地方創生では、行政主導で始まった取組みに遅ればせながら住民や企業を巻き込まなければならぬ時期が訪れている。しかし、市町村ホームページをよく見ると、いつの間にかトップページから地方創生の文字は消えている。ある意味、自治体の職員の危機感も消滅の淵にあることが危惧される。

●地域課題は複雑さを増し“課題は見える”という常識が通用しにくくなり、何をエビデンスとして捉えればよいのかも判然としない。ご存じのサン・テグジュベリの星の王子さまがキツネに「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えない。かんじんなことは目に見えない」と語るシーンが脳裏に浮かぶ。

●情報やデータは爆発的に増加している。ORは、そうした情報やデータを効率的・効果的に解析し、経営的な視点に基づきデザインする力をもつ。それだけに、目に見えにくい課題の現場で悩む人々に寄り添い、解決のために力を発揮することができると考えている。ぜひ、身近な課題解決の輪に加わってください。そこにはORを待っている人がいる。(畑 正夫)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 猿渡 康文 (筑波大学)

関西支部編集委員長 岳 五一 (甲南大学)

オーガナイザ 畑 正夫 (兵庫県立大学)

関西支部編集委員 木庭 淳 (兵庫県立大学), 多田 実 (同志社大学), 小出 武 (甲南大学), 中西 真悟 (大阪工業大学)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成29年5月号 第62巻 第5号 通巻677号

代表者 大山 達雄

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。